

令和3年度第2四半期景況調査〔7月～9月期〕報告

由布市商工会

I : 調査要領

1. 調査概要

- 1) 調査期間 : 令和3年7月～令和3年9月
- 2) 対象企業数 : 由布市商工会管内13事業所 (9月に実施)
- 3) 調査方法 : 経営指導員によるヒアリング調査

2. ヒアリング事業所の地区別内訳

| 地区別 | 庄内 | 挾間 | 湯布院 |
|------|----|----|-----|
| 事業所数 | 5 | 5 | 5 |

3. 業種別内訳

| 業種 | 製造 | 建設 | 小売 | サービス |
|------|----|----|----|------|
| 事業所数 | 2 | 3 | 5 | 5 |

※調査対象事業所数が少ないため、全事業所での報告とします。

内容はD I 値のみ報告いたします。





※D I (前年同期比) は、売上額(完成工事額)・客数(受注工事額)・資金繰り・採算について増加(上昇、好転)事業所から減少(低下・悪化)の事業所割合を差し引いた値です。

(+の場合は「好転」、▲の場合は「悪化」となります。





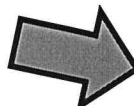
II : 管内景況判断

1. 令和3年7月～9月調査分

1) 令和3年7月～9月景況判断

| 項目 | 売上高 完成工事高 | 客数 受注工事数 | 資金繰り | 採算 |
|-------|---|---|---|---|
| 景況判断 |  |  |  |  |
| D I 値 | ▲26.7% | ▲53.3% | ▲38.5% | ▲46.2% |

2) 令和3年7月～9月の景況見通し

| 項目 | 売上高 完成工事高 | 客数 受注工事数 | 資金繰り | 採算 | 業況 |
|-------|---|---|---|---|---|
| 景況判断 |  |  |  |  |  |
| D I 値 | ▲36.4% | ▲41.7% | ▲30.0% | ▲30.8% | ▲50.0% |

3) 設備投資計画

① 設備投資計画の有無

| | | | |
|--------|-------|----|----|
| 設備投資計画 | すでに実施 | ある | なし |
| 事業所数 | 2 | 1 | 14 |

② 設備投資内容

| |
|--------------|
| 車両運搬具、サービス設備 |
| |
| |

4) 現在直面している経営上の課題：上位3件（複数回答あり）

| 順位 | 問題点 | 事業所数 |
|----|-----------|------|
| 1位 | 需要の停滞 | 8 |
| 1位 | 従業員の確保難 | 8 |
| 3位 | ニーズの変化の対応 | 6 |

5) 業況判断の背景として事業所が感じていること

| |
|--|
| 引き合いは一定量あるが、顧客ニーズの変化に対応していくことがなかなか難しい。将来のニーズを見極めて、商品開発等をすすめていかなければならない。 |
| 仕事は取れているようです。コロナの影響でまたなくならないように願うばかりです。材料の値上がりを受注に関係しないようにと思うばかりです。 |
| コロナ禍ではあるが、安定した売上を確保している。一方で、業界全体としては担い手が不足している。 |
| コロナと長雨と高齢化で買い物客の減少、客単価の減少。高齢化で一人暮らしや老人ホームに入居した人が多くなった。また、運転免許の返納で車に乗れない人が多くなって買い物ができない。 |
| コロナ禍で新車売上が伸び悩む中、対策として中古車販売に力を入れ、新たな事業としてREDOXを取り入れ、今のニーズに適した販売戦略を取ることで、全体の売上も伸びてきていると感じています。 |
| コロナで冠婚葬祭が行われなくなり売上減少。 |
| お客様の高齢化が進んでいく事でどのように対応するか。 |
| 8月は感染症の増加に伴い、特に売上が伸び悩みました。運転資金の確保の面で不安があります。 |
| テイクアウトのお弁当販売の客は一定数いるが、メインターゲットである観光客が少ないため、売上は伸び悩んでいる。 |
| 新型コロナウイルスの感染が長引いているため、採算が悪化している。 |